

## 5 自動車整備業における危険性又は有害性により

### 発生のおそれのある災害の例

自動車整備業における危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例として、自動車整備業において使用される工具、設備等を単位としてまとめると次のようなものがあります。

初めてリスクアセスメントを導入する場合などに着眼点とすると効果的です。

#### 【リフトを使用した作業： セットアップ】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
1	リフト (はさまれ・巻き込まれ)	車両セッティングの際、誤って上昇ボタンを押したため、車両受台と車両の間に作業者の手が挟まれ骨折する。
2	リフト (はさまれ・巻き込まれ)	主作業者がジャッキ・ポイントを直すために手を入れた際、他の作業者がリフトを操作したため、手が挟まれ、指を骨折する。
3	リフト  (飛来・落下)	ドライブオン型パンタ・リフトに左右差が発生して小パンタがはずれそうになり、それを手で押さえようとしたところ、作業者の足に落下し骨折する。
4	リフト  (飛来・落下)	車両をリフトで上げるためアングルを片手で、もう一方の手でそのアングルをスライドさせる棒を持ち、スライドさせる棒にそのアングルを引っかけて移動していたが、途中で手が滑ってアングルを足に落とし打撲する。

#### 【リフトを使用した作業： リフトアップ】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
5	リフト (はさまれ・巻き込まれ)	車両を片上げした際、車両がリフト受台からすべり、落下する車両を手で押さえようとして、車両に挟まれ死亡する。
6	リフト  (飛来・落下)	リフト上昇停止時に車両のバランスが崩れ、隣のストールの作業者に車両が落下し、死亡する。
7	リフト  (飛来・落下)	リフト上昇の際、リフト受台のゴムが安全な状態で車両に当たっていなかったため、車前方のアームが外れ車両が落下し、作業者の足に車両の前輪が落下し骨折する。
8	リフト  (飛来・落下)	2柱リフトに4柱リフトのアタッチメントを使用して車両をリフト・アップ中、アームが外れ車両が落下し、作業者が死亡する。

9	リフト (飛来・落下)	軽自動車で車幅がリフト・ボード幅ぎりぎりであったこと、車両進入が左右方向にずれたため、リフト上昇中に車両が落下し、作業者が死亡する。
10	リフト (飛来・落下)	作業者が車両をリフトアップする時に、車両のリフトアップポイントを誤ってセットしたため安定が無くなり車両が落下し、車両の下敷きになり死亡する。
11	リフト (飛来・落下)	作業者が日常点検・定期点検を怠り車両受台が破損のまま、リフトアップし、車両が落下して車両に挟まれ死亡する。
12	リフト (飛来・落下)	Xリンクリフトで車両受ゴムを左右異なった物を使ったため、バランスが崩れて車両落下し、車両に挟まれ死亡する。
13	リフト (飛来・落下)	純正アタッチメントが破損したので、同じ大きさの木材で代用しリフトアップしたため、車両がすべり車両が落下しリフト近くの作業者が車両に挟まれ死亡する。
14	リフト (飛来・落下)	アーム式リフトでアーム振れ止め装置をしないで車両アップし、アームが回転して車両落下し、作業員が車両に挟まれ死亡する。
15	リフト (激突され)	作業者が車両に輪留めを掛けない(駐車ブレーキ等も)でXリンクリフトを使用したため、車両が動いて他の作業者が車両に挟まれ手や頭を打撲する。
16	リフト (動作の反動・無理な動作)	ワイヤーの伸び等によりリフトの水平が出ておらず、また、サイド・ブレーキ、輪止めを使用していなかったため、車両が後方に動き脱輪し、作業者が逃げるときに腰を打撲する。
17	リフト (転倒)	リフトアップ作業中、床に部品を転がしたまま作業を行い、作業者がつまずいて転倒し、足を捻挫する。

【リフトを使用した作業：本作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
18	リフト (はさまれ・巻き込まれ)	主作業者がリフト上の車両を点検作業中、他の作業者がリフトの下降操作を行なったため、リフト・ボードに足を挟まれ骨折する。
19	リフト (はさまれ・巻き込まれ)	作業者が車両を整備している時に、他の作業者がリモコンを操作しリフトの下敷きになり、死亡する。
20	リフト (飛来・落下)	車両を上げて下回り作業中、ワイヤーの交換を怠っていたため、ワイヤーが切れてリフトが落下し、従動側1ヶ所の安全装置が働かなかったため作業者は頭部・腰部を打撲する。
21	リフト (飛来・落下)	ドライブオン型埋設2柱リフトを使用し、ミッションを外す作業中、動いた車両が作業者に落下し、死亡する。
22	リフト (飛来・落下)	ドライブオン型4柱リフトを使用し、整備作業中、プロペラシャフトを外したところ輪止めをしていなかったため、車両が移動し、後輪が落下し、作業者が肩を打撲する。

23	リフト (飛来・落下)	作業者が重要保安部品(チェーン、ワイヤー等)の交換時期を過ぎても交換せず、そのまま車両を整備しているところ突然車両が落下し、車両に挟まれ死亡する。
24	リフト (飛来・落下)	誤った使用方法で車両が落下しそうになり、本来逃げなければならぬのに手で車両を押さえたが支えきれず車両が落下し下敷きになり死亡する。
25	リフト (飛来・落下)	トラックをリフトにセットし上昇させキャabinを開いたため、前後バランスが崩れ車両が前に落下し、車両前面にいる作業者が車両に挟まれ全身を強打する。
26	リフト (飛来・落下)	リフトアップした車両を大きく揺すったため、リフトポイントから車両が外れ、車両が落下し揺すった作業者が車両に挟まれ死亡する。
27	リフト (飛来・落下)	リフトアップし作業中、車両の下からゴミが落ち、防護メガネをしていないため目に入り目を損傷する。
28	リフト (飛来・落下)	バッテリー液をこぼし、リフトのチェーン、ワイヤーに付着したがそのまま使用を続けたため、チェーン切れを起こし、車両が落下し作業者に当り死亡する。
29	リフト (飛来・落下)	落下防止用の安全装置が故障のまま使用し、ワイヤーロープが切れて車両が落下し、車両下にいる作業者が死亡する。
30	リフト (飛来・落下)	2柱リフトで車両を反対方向(前後逆)に入れ、前後のバランスを崩し車両が落下し、作業員が車両に挟まれ死亡する。
31	リフト (激突され)	オイル・レベルゲージを抜こうとした際、オイル・タンク内のエア圧でレベルゲージが飛び出し、作業者の頭部に当たり死亡する。
32	リフト (激突され)	点検整備不良による操作バルブからのエア漏れ、また、安全装置も作動しなかったため、デフの取外し作業中に急にリフトが下がり、作業者が車両と接触し、頭骨を骨折する。
33	リフト (激突され)	トラックを片上げて寝板で下回りの作業中、誤って背中で操作ボタンを押したためリフトが下降し、作業者が鎖骨を骨折する。

**【リフトを使用した作業： リフトダウン】**

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
34	リフト (はさまれ・巻き込まれ)	主作業者が下降操作中、反対側にいた作業者が下がってきたランウェイに足を挟まれ骨折する。
35	リフト (はさまれ・巻き込まれ)	作業者がリフト下降操作をしているときによそ見をして、リフトに足を挟まれ足を骨折する。
36	リフト (飛来・落下)	リフトアップの状態部品を外すため車両の下方に棒等を当ててリフト下降したため、車両のバランスが崩れ車両落下し、車両近くの作業者が車両に挟まれ死亡する。

37	リフト (激突され)	他に人が近くにいたが気付かずリフトを下降し、リフトまたは車両にあたり頭部を打撲する。
----	---------------	--

**【ジャッキを使用した作業】**

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
38	ガレージジャッキ (はさまれ・巻き込まれ)	短時間作業だからとリジトラックを使用せず車の下で作業中、他の人がジャッキの下降ハンドルに誤って触れたため車両と地面に挟まれ死亡する。
39	ガレージジャッキ (はさまれ・巻き込まれ)	作業者が車両を整備する時に、リジトラック(馬ジャッキ)を掛けずに整備してしまい車両バランスが崩れ車両の下敷きになり死亡する。
40	ガレージジャッキ (飛来・落下)	ジャッキ・アップして後輪ブレーキ調整中、ジャッキの受金から車体が外れ、落下して頭を挟まれ死亡する。
41	ガレージジャッキ (飛来・落下)	リフト・アップ状態で作業中、ジャッキハンドルアームが下げたままになっており、隣の車両が移動する際アームを引っ掛け、作業車両が落下し下敷きとなり死亡する。
42	ミッションジャッキ (飛来・落下)	作業者がトランスミッション等の重量物をあげる時に機械の最大積載重量以上の物をあげてしまい、バランスを崩し車両、エンジンが落下し死亡する。
43	エンジンジャッキ (切れ・こすれ)	エンジンを降ろす際、エンジンのバランスがくずれジャッキから抜け落ち、マニホールド端部で手を切る。
44	パンタグラフ・ジャッキ (飛来・落下)	パンク修理時、タイヤを取り外す作業中、ジャッキを上げすぎたためバランスをくずし車体と床に足を挟まれ骨折する。
45	パンタグラフ・ジャッキ (はさまれ・巻き込まれ)	不安定な場所でジャッキ・アップしたため、ジャッキが倒れ車両に足が挟まれ骨折する。
46	油圧ジャッキ (飛来・落下)	後輪タイヤを交換中、リヤホーシングにかけたジャッキの高さを上げようと操作中、バランスをくずし車体が落下し作業者の後頭部を打撲する。

**【クレーン・チェンブロック等を使用した作業】**

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
47	クレーン (飛来・落下)	クレーンで車を吊り上げ部品取り作業中、ワイヤーが切れ、車両側面にいた作業者が車の下敷きとなり死亡する。
48	クレーン (飛来・落下)	タイヤの付いていない軽トラックをクレーンで吊り上げて部品取り作業中、ロープが切れ、車両の下に入っていた作業者が下敷きとなり死亡する。

49	チェーンブロック (はさまれ・巻き込まれ)	車両のエンジン載せ替え作業中、エンジンを下ろしたときに手を挟み骨折する。
50	セーフティーローダー (激突され)	故障車をセーフティーローダーにウインチで引き上げる際、ワイヤーが切れて作業員を直撃し、胸部を骨折する。

【タイヤ交換・空気充てん作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
51	エアインフレーター (破 裂)	軽トラックのパンクしたチューブを修理し、タイヤに空気を充てん中にタイヤが破裂し、タイヤホイールが飛び作業員の頭部に激突して骨折する。
52	エアインフレーター (破 裂)	パンクの修理後に空気を充てんし、450kPa(4.5kgf/cm <sup>2</sup> )になったときにタイヤが変形したので点検しようとしてタイヤを立てかけた際、タイヤが破裂し、風圧で手を骨折する。
53	エアインフレーター (破 裂)	農耕用トラクタのタイヤのパンク修理後、タイヤの上に乗って空気充てん中にチューブが破裂、はじき飛ばされ天井のコンクリートに頭を強く打ち死亡する。
54	エアインフレーター (破 裂)	ダンプトラックのパンクを修理し、800kPa(8 kgf/cm <sup>2</sup> )にセットし空気を充てんしたタイヤをダンプトラックに取り付け、8本締めるナットのうち1～2本目を締め付けているとき、突然バーストして、風圧で飛ばされ、機械類に頭部を強打し骨折する。
55	エアインフレーター (破 裂)	車両に装着されていたトラックタイヤに空気を充てん中、ホイールのウエル部から輪切状に破壊し、風圧で飛来したホイール及びタイヤが作業員の頭部を直撃し骨折する。
56	エアインフレーター (爆 発)	トラック・バス用タイヤをリム組み後、床面に寝かせて空気を充てん中に、反ディスク側(下面)から一気に空気が抜け、暴発により(ビード部がフランジより抜ける)タイヤが天井まで吹き飛び、その際作業員も同時に吹き飛ばされて、床に頭を打ちつけて死亡する。
57	タイヤチェンジャー (破 裂)	大型フォークリフトのタイヤのパンク修理作業を終え、大型タイヤ用チェンジャーに固定して空気を充てん中にチューブが破裂し、ホイール(サイド)リングが外れ、その前に立っていた作業員の腹部にタイヤごと直撃し、死亡する。
58	タイヤチェンジャー (飛来・落下)	大型ダンプトラックのタイヤを交換し、タイヤに空気を充てんしていたところ、突然飛び出したサイドリングが直撃し、腰と腕を骨折する。
59	タイヤチェンジャー (飛来・落下)	タイヤ交換作業でアルミホイールに新品タイヤを組み付け圧縮空気充てん中、ホイール内側よりタイヤが外れ作業員の頭部を直撃し死亡する。

60	タイヤ・バルancer (飛来・落下)	タイヤ交換後のバランス調整時、取り付けたウェイトが飛び作業者の顔面に当たり裂傷を負う。
61	ホイール・バルancer (激突)	安全カバーをしないうで、バルancerを回し回転中のタイヤに触れて指を骨折する。
62	ホイール・バルancer (飛来・落下)	安全カバーをしないうで、バルancerを回し回転中のタイヤに挟まった石がとび、目に入り視力が低下する。
63	インパクトレンチ (有害要因との接触)	タイヤ取り外しの際、耳あてを使用しないためインパクトレンチの騒音により難聴になる。

**【グラインダー・カッター・ボール盤を使用した作業】**

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
64	グラインダー (飛来・落下)	電気ディスクグラインダーを手に持ち、加工物の角面を研削砥石の側面で強く押して作業中、突然研削砥石が破壊し、わき腹に当たり裂傷を負う。
65	グラインダー (飛来・落下)	携帯用空気グラインダーの砥石を規程の寸法の砥石がなかったので、厚さが薄い平型砥石と取り替え、研削作業を開始したところ、研削砥石がほぼ3等分に割れて飛散し、作業者の足に当たり打撲する。
66	グラインダー (飛来・落下)	空気グラインダーを手に持ち、金属の仕上げ加工を行っていたが、空気グラインダーを手から落とし、研削砥石の一部が欠け、飛散した砥石が足に刺さり裂傷する。
67	グラインダー (飛来・落下)	卓上グラインダーで機械工具を研削するために平型砥石の側面に、機械工具を当て研削していたとき、突然平型砥石が欠け、飛散し、頭部を直撃し打撲する。
68	グラインダー (飛来・落下)	保護メガネをせずに部品研磨中、破片が目に入り失明する。
69	高速カッター (飛来・落下)	パイプを切断する際、無理な角度でカットしようとしたため、カッターの歯が割れて飛散し、手を裂傷する。
70	ボール盤 (はさまれ・巻き込まれ)	ボール盤で作業中、手袋が巻き付き、手を挫滅する。
71	ボール盤 (激突され)	卓上ボール盤で金属加工物の穴あけ作業中に、ドリルと共回りし、金属加工物が指にあたり骨折する。

**【洗車・洗浄作業】**

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
72	高圧温水洗浄機 (激突され)	洗浄ガンをしっかり持たないで洗車した為、洗浄ガンの反動でガンが体に当たり、打撲する。

73	高圧温水洗浄機 (高温・低温の物との接触)	車両洗車者が手袋をしなくて温水を使用して車両を洗車中、ノズルの金属部分に手が触れ、火傷する。
74	高圧温水洗浄機 (高温・低温の物との接触)	洗車する際、よそ見をしながら行った為、洗浄ガンを別の作業者に向けてしまい、高圧・高温のため傷害、火傷する。
75	高圧温水洗浄機 (火災)	機器の点検を行わなかった為、カーボン付着による不完全燃焼によりボイラー内の灯油溜りが起こり、溜まった灯油に発火して全身を火傷する。
76	高圧温水洗浄機 (火災)	燃料を間違えて灯油ではなくガソリン、シンナーを入れたため、火災が発生し全身を火傷する。
77	高圧温水洗浄機 (火災)	機器を稼動しながら給油作業を行い、火災となり全身を火傷する。
78	高圧温水洗浄機 (感電)	アースを取らずに使用したため、漏電時に感電する。
79	高圧温水洗浄機 (感電)	洗車作業中に裸足のままでおこなったため、漏電時に感電する。
80	門型洗車機 (はさまれ・巻き込まれ)	洗車中に門型洗車機と壁の狭い間を通ろうとして挟まり死亡する。
81	門型洗車機 (はさまれ・巻き込まれ)	洗車途中で窓の閉め忘れに気づき、停止しないで車両に乗り込もうとしたため、車両と洗車機に挟まれ死亡する。
82	門型洗車機 (感電)	一次側電源に漏電ブレーカーを付けていないため、漏電時に感電する。
83	門型洗車機 (感電)	主電源をONのまま制御盤を開け盤内に触れたため感電する。
84	マットクリーナー (はさまれ・巻き込まれ)	作業者がタオル等を首に巻き垂らしていたため、マットクリーナー使用時に巻き込まれ、窒息する。
85	マットクリーナー (感電)	アースを取らずに使用したため、漏電時に感電する。
86	マットクリーナー (感電)	洗浄作業中に裸足のままでおこない、漏電時に感電する。

【検査作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
87	コンビネーションテスター (はさまれ・巻き込まれ)	車両のテスト中に付近を歩き、ローラーに巻き込まれて足を骨折する。
88	コンビネーションテスター (はさまれ・巻き込まれ)	中間リフトが下降時にローラー上を歩いたため、足場が悪く転倒し、ローラーに挟まれ足を骨折する。

第4章 リスクアセスメント導入のための資料集

89	コンビネーションテスター (はさまれ・巻き込まれ)	中間リストが下降時にローラーの周辺に手を置いたため中間リフトに挟まれ、手を骨折する。
90	コンビネーションテスター (飛来・落下)	タイヤに異物(石等)挟まったまま、速度計の試験を行いタイヤ回転中に異物が飛び、目に当たって失明する。
91	コンビネーションテスター (激突され)	スピードテストで最大許容速度以上の測定を行うことにより、車両の飛び出しが発生し、測定車両の前方にいる作業者に車両がぶつかり全身を打撲する。
92	コンビネーションテスター (激突され)	スピードテスト中(FF車、4WD車)にハンドル操作を行ったとき、車両固定具を使用していなかったため、車両が飛び出し、車両前方や横にいる作業者に車両がぶつかり全身を打撲する。
93	コンビネーションテスター (激突され)	テスト中に中間リフトの操作を行ったとき、インターロックが無かったため、車両が飛び出し、車両前方にいる作業者が全身を強打し死亡する。
94	サイドスリップテスター (転倒)	踏板の上をロックせずに歩いたため、踏板が左右に動きバランスを失って転倒し、足を骨折する。
95	ヘッドライトテスター (転倒)	テスターが左右移動中にレール上を歩いたため、転倒し足を骨折する。
96	ヘッドライトテスター (転倒)	テスターが上下移動中に受光部周辺に手を置いたため転倒し腕を骨折する。
97	ヘッドライトテスター (有害要因との接触)	ランプ正対用のレーザー光線を凝視したため、失明する。
98	排気ガステスター (有害要因との接触)	測定中の換気が出来ておらず、CO/HCを多量に吸い込んだため、中毒になる。

【充電作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
99	バッテリー充電器 (飛来・落下)	バッテリーを充電中にブースタを落とし、バッテリーの蓋が左目に当たり網膜を負傷する。
100	バッテリー充電器 (有害要因との接触)	バッテリーを充電中、換気が不十分だったので発生したガスで気分が悪くなる。
101	バッテリー充電器 (爆発)	バッテリーの充電中に充電が完了したと勘違いし、電源を切らずにクランプを外したため、爆発し、失明する。

【ピットに係わる作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
102	ピット (はさまれ・巻き込まれ)	サイドスリップ調整中、補助者が誤って車両を動かしたため、作業者の手がドライブシャフトに巻き込まれ骨折する。

103	ピット (墜落・転落)	作業者が、工具等を持ってピットまで運んでいた時、不注意でピットに転落し、足を骨折する。
104	ピット (激突)	ピットに車両を入れ下回り作業中、床の工具を取ろうと振り向いた際に、ロワームに頭をぶつけ裂傷を負う。
105	ピット (有害要因との接触)	燃料タンクの取り外し作業で、ガソリン抜き取り用コックのない車両の燃料ホースを外した際、ガソリンが漏れてピット内にガスが充満し、中毒になる。

【整備作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
106	車体 (アジテータ) (はさまれ・巻き込まれ)	ミキサ車アジテータ内のコンクリート剥離作業中、アジテータと工具箱の間に挟まれ死亡する。
107	車体 (バックレスト) (はさまれ・巻き込まれ)	フォーク・リフトの整備作業時、取り外したバックレストが自分の方に倒れてきたため、取り押さえようとしたが間に合わず、バックレストと地面の間に手を挟まれ骨折する。
108	車体 (煽り) (はさまれ・巻き込まれ)	4トン平ボディ貨物車の車検整備のとき、1人が後輪ダブルタイヤを取り外し中、他の作業者がサイド煽りのロックを忘れたため振動で開いてしまい、後輪タイヤと煽りの間に頭部が挟まり重度のムチ打ち症状になる。
109	車体 (はさまれ・巻き込まれ)	共同作業で灯火の点検中、運転席の作業者がエンジンを始動したところ、車が突然後退し、後部にいた作業者が壁側との間に挟まれ死亡する。
110	車体 (激突され)	アライメントの測定作業中、車両を前進させるため、輪止めを外しサイド・ブレーキを下ろしたところ、車両が前方に動き出し、それを止めようとした作業者が壁と車両に挟まれ、足を骨折する。
111	車体 (ブレーキドラム) (有害要因との接触)	ブレーキドラムを分解の際、エアで掃除した為、ブレーキライニングの粉が舞い、吸い込みじん肺になる。
112	車体 (車内) (高温・低温の物との接触)	真夏にエンジン不調の車両を点検中、長時間エンジンの熱で周辺温度が上昇し、気分が悪くなる。
113	車体 (高電圧部品) (感電)	電気自動車やハイブリット車で指定の絶縁手袋を着用しなかったため、高電圧部品に触れてしまい感電する。
114	エンジン (ファン・ベルト) (はさまれ・巻き込まれ)	エンジンの調子を見ながら整備をしていたとき、ファン・ベルトに左手人差し指が巻き込まれ、切断する。
115	エンジン (飛来・落下)	車両からエンジンを取り外す際、重みが急にかかり、指で支えてしまい指を骨折する。

第4章 リスクアセスメント導入のための資料集

116	エンジン (動作の反動・無理な動作)	車両のエンジン修理時、エンジンを持ち上げた際に背部を挫傷する。
117	エンジン (タイミング・ベルト) (動作の反動・無理な動作)	エンジンのタイミング・ベルト交換作業中、工具が外れ、その勢いで鉄板で手をはじかれ打撲する。
118	エンジン (ギヤ) (切れ・こすれ)	タイミング・ベルト交換作業中、オイル・ポンプのシール交換のため、ギヤを左手で持ち、右手でエア・インパクト・レンチを回したところ、ナットが緩まずギヤが回り、指を切る。
119	エンジン (ラジエータ) (高温・低温の物との接触)	車両の点検作業中、ラジエータの水を入れ替えているときに、熱湯が手にかかり、火傷する。
120	エンジン (ラジエータ) (高温・低温の物との接触)	オーバーヒートの出張整備の際、ラジエータのドレン・コックを緩め、冷却水を抜き取る作業中、高温の冷却水が噴出し誤って手と足を火傷する。
121	エンジン (プラグコード) (感電)	エンジンが不調で、プラグコードを確認しようと触ったところ、感電する。
122	トランスミッション (飛来・落下)	作業台でトランスミッションを組み立て作業中、ケース周りのボルトを増し締めしていたら、本体が作業台から滑って落下し、足に当たり骨折する。
123	コイル・スプリング (飛来・落下)	コイル・スプリングを車に取り付ける作業中、工具が外れスプリングが飛び、指に当たり打撲する。
124	クランプ (激突され)	ボディ修正時に安全ワイヤーを使用しなかったため、クランプ外れ、チェーンが切れて骨折する。
125	脚立 (墜落・転落)	ルーフなどの高い位置を脚立に乗りポリッシング中、両手でポリシャ―を使用していたため、足元が動き脚立から落下し腰を打撲する。
126	脚立 (墜落・転落)	事業場内で脚立に上がってワゴン車の清掃中、脚立が倒れ転落し、鎖骨を骨折する。
127	エンジンオイル (転倒)	エンジンオイル抜き取り作業中、作業員が移動している時にチェーンジャーに接触し倒れ、オイルが車両及び床に飛散し、滑って転倒し腰を打撲する。
128	エンジンオイル (高温・低温の物との接触)	軍手をしてエンジンオイル交換作業中、高温のエンジンオイルが手に掛かり手を火傷する。
129	エンジンクリーナー (有害要因との接触)	換気を十分行わず、エンジンクリーナーを使用したため有害ガスを吸引し、気分が悪くなる。
130	エンジンルーム内 (はさまれ・巻き込まれ)	クーラ・コンデンサファンの点検時、突然電動ファンが回りだし、手が巻き込まれ手を裂傷する。

131	ドラムブレーキ (飛来・落下)	ドラムブレーキの粉じんをエアガンで清掃中、粉じんが目に入り眼球に損傷を負う。
132	エキゾーストマニホールド (高温・低温の物との接触)	ステアリングラックブーツの交換時、高温のエキゾーストマニホールド手が触れてしまい火傷する。
133	ハンマー (動作の反動・無理な動作)	トラックの修理作業中、荷台部分のボルト穴がずれていたため穴の位置を合わせるため、ハンマーでたたいて調整中にハンマーが跳ね返り、歯を負傷する。
134	スライディングハンマー (はさまれ・巻き込まれ)	ハンマーリング時に正しい使用方法をしないため指をはさみ骨折する。
135	エンジンリフター (飛来・落下)	エンジン・パネル他の着脱時、リフターを使用しなかったため落下して足を骨折する。
136	レンチ (切れ・こすれ)	トルクレンチでタイヤナットの締め付けトルクを測定していたらレンチの内部ギヤが欠けて、床で手を擦りむく。

【溶接作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
137	溶接機 (火 災)	溶接作業中、事業場にあった燃料タンクに引火し火災が発生して火傷する。
138	溶接機 (爆 発)	タンクローリのフランジ部の修理作業中、電気溶接の火花が引火、爆発し、死亡する。
139	溶接機 (飛来・落下)	溶接時に手袋・防護メガネの着用を怠ったため、火花が飛び散り、火傷及び失明する。
140	板金 (有害要因との接触)	板金作業中、ハンマーとあて板の打音により右耳が難聴となる。
141	エアソー (有害要因との接触)	エアソーでボディーの一部を切断中、振動で手首を傷める。

【塗装・板金作業】

No	工具、機械設備等	危険性又は有害性により発生のおそれのある災害の例
142	塗装スプレーガン (有害要因との接触)	狭い場所で塗装している際、どうしても自分の方向にスプレーしなければならない角度になり、誤って顔面に塗料がかかり、目に入り角膜を損傷する。
143	サンディング (有害要因との接触)	防護マスク・集塵機を使用しなかったため、塗膜・パテ粉などの粉塵を吸引し肺機能が低下する。
144	調色 (有害要因との接触)	防護めがねを使用しなかったため、溶剤が目に入り失明する。

第4章 リスクアセスメント導入のための資料集

145	調色 (有害要因との接触)	手袋を使用しなかったため、溶剤で皮膚に炎症を起こす。
146	調色 (有害要因との接触)	マスクを使用しなかったため、溶剤を吸込み中毒になる。
147	塗装 (有害要因との接触)	屋内で塗装作業を行ったため、溶剤が拡散し気分が悪くなる。
148	塗装ブース (火 災)	バーナーの不完全燃焼により発火爆発し、作業者が全身火傷する。
149	乾燥 (高温・低温の物 との接触)	赤外線ヒータのヒータ管が赤くならないので、作動状態が分かりにくく、作業者が確認のために誤って触れて火傷する。
150	工場内 (高温・低温の物 との接触)	夏で工場内が暑く、休憩を行わなかった為、板金作業をしているとき熱中症になる。